

2015年度 成美市民大学 第2期講座

～地域活性化を多角的に考える～

成美大学では市民の皆様を対象とした公開講座を開催いたします。第2期講座は、「地域活性化を多角的に考える」をテーマとして10月に開講します。市民の皆様の生涯学習の推進とともに、なお一層大学を身近に感じていただくことをめざしています。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

◆日時：10月14日(水) 18:00～20:15

◆会場：成美大学 4号館

お申込み不要
参加無料

3単元

「人生の最期をどこで迎えるか？—北近畿における医療・介護の連携と終末期医療について—」

講師：成美大学 星雅丈 准教授・修士（保健学）

地域の医療・介護・福祉の連携が推進される中、高齢者の方が最期を迎える場所が多様化しています。例えば、政府はできる限り「在宅」で最期を迎えられるよう推進していますが、それには診療所や訪問看護・介護ステーションなどの連携が必要です。ただ、現状として福知山のような地方都市でその流れを構築するには、様々なリソースが足りないとも言われています。ではどのように考え、どのように準備をしておけばよいのか…有料老人ホームや介護付老人ホームなど、様々な選択肢が生まれる中、高齢者の施設や制度について、改めて学びます。

【講師プロフィール】

北海道の釧路市出身。診療情報管理士・上級医療情報技師・診療放射線技師。大学院卒業後、大阪の7病院の情報システム管理者として7年間医療現場で勤務し、そこで医療情報に関わる人材の重要性を肌身に感じました。これからの日本の医療を病院の屋台骨となって支える人材を育成します。



4単元

「やさしいオプション理論のはなし」—暮らしの中の数理—

講師：成美大学 三品 勉 教授・Ph.D.経営工学

【講師プロフィール】

米オクラホマ大学大学院博士課程修了(Ph.D.経営工学)。秋田県立大学システム科学技術学部教授を経て、平成27年4月より成美大学経営情報学部教授。専門分野は経営工学と経営管理理論。現在は経営科学による戦略事業策定と業績評価など研究中。



最近よく耳にする「オプション」は、(金融)デリバティブ取引の一部です。株式や通貨の取引の活発化に伴い、リスク回避活動が重要になってきました。この回避行動がデリバティブであり、使い勝手のよさ、取引コストの安さで人気があります。特にオプションはそのユニークな仕組みにより、金融に限らず日常生活、産業界でも活用されています。セミナーではオプションの成り立ちを整理し、どのような活用法があるかを検討します。

●その他：次回講座の詳しい内容や講師の紹介は本学HP（<http://uv.seibi-gakuen.ac.jp>）等に掲載します。

【お問い合わせ先】成美大学 地域活性化センター Mail: regional@uv.seibi-gakuen.ac.jp Fax: 0773-24-7170
Tel: 0773-24-7100 (受付時間は平日9～17時)

主催：成美大学